

平成28年度 学校自己評価システムシート（栄北高等学校）

| | |
|--------|--|
| 目指す学校像 | 建学の精神「人間是宝」、校訓「今日学べ」のもと、安全・安心・充実した生活で生徒の夢を実現する |
|--------|--|

| | |
|------|--|
| 重点目標 | 1 生徒指導の徹底 2 基礎学力の向上とアクティブラーニング、キャリア教育の推進 3 進学実績の向上 |
|------|--|

| | | |
|-----|---|-------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成(8割以上) |
| | B | 概ね達成(6割以上) |
| | C | 変化の兆し(4割以上) |
| | D | 不十分(4割未満) |

| | | |
|-----|-------|-----|
| 出席者 | 学校関係者 | 10名 |
| | 教職員 | 7名 |

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学 校 自 己 評 価 | | | | | 学 校 関 係 者 評 価 | | |
|-------------|--|---|--|--|--|-----|---|
| 年 度 目 標 | | | | 年 度 評 価 (3 月) | | | |
| 番号 | 現状と課題 | 評価項目 | 具体的方策 | 方策の評価指標 | 評価項目の達成状況 | 達成度 | 次年度への課題と改善策 |
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ●本校は素直で真面目な生徒が多く、非行など問題行動で指導（懲戒）を必要とする状況が非常に少ない。 ●入学時より正しい生活習慣を身につけることによって高校生としての自覚や更なる充実した学校生活と効果的な学習が望まれる。 ●本校では基本的な生活習慣やマナーについて徹底指導しており、高校生活はもとより、卒業後にも通用する人格形成に心がけている。 | <ul style="list-style-type: none"> ●生徒指導の徹底。 ●積極的な面談の実施。 ●いじめの早期発見、早期解決。 ●担任による日常指導の徹底。 | <ul style="list-style-type: none"> ●面談により、生徒を理解し学習面及び生活面の安定と向上を目指す。 ●生徒の生活習慣を把握し、一人ひとりに合った指導を行う。 ●個別膝下指導により、悩みごとの早期発見と解決を行う。 ●学年と生徒指導部との連携、情報の共有により、問題行動の事前防止に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ●生徒指導の徹底により、問題行動を事前に防止し、健全な高校生活を送らせる。 ●積極的な面談の実施により、生徒個々の状況を把握する。 ●アンケート等により、いじめの早期発見、早期解決を目指す。 ●担任が生徒一人ひとりの状況を把握し、徹底した指導を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ●学期内に2回以上、生徒との面談を実施。学習・生活面など多岐にわたり状況を把握した。 ●定期的に生徒へのアンケートを実施。現状の把握に努め、いじめの早期発見・防止に努めた。 ●担任とのコミュニケーションを意識させ、悩みを早期発見できる環境を作った。 ●家庭との情報を共有し、共通理解のもと適切な指導を実施した。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ●引き続き積極的に面談を実施することで、生徒の心の動きを把握し、問題の早期発見に努める。家庭とも連絡を密に取り適切な指導を行っていく。 ●アンケートの実施や面談により、いじめの早期発見に努め、いじめの防止、迅速な解決に努める。 ●生徒指導と学習指導を中心にあらゆる機会を通して人格の陶冶を目指し、担任指導の徹底を図る。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ●特色あるカリキュラムのもとに、国公立大学や難関私立大学を目指す生徒から、部活と勉強を両立させて高校生活を有意義に過ごしたい生徒、自動車のスペシャリストになりたい生徒まで、一人ひとりに合わせた学習指導で学力を向上させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●基礎学力の向上。 ●教員の指導力の向上。 ●家庭学習の充実。 ●アクティブラーニングの推進。 ●キャリア教育の推進。 | <ul style="list-style-type: none"> ●教員研修を実施し、教育力、指導力を高める。 ●日常の指導とコミュニケーションによる、家庭学習の習慣化。 ●アクティブラーニング及びキャリア教育研修会への教員参加。 ●アクティブラーニング及びキャリア教育の意義や目的を生徒に理解させての実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ●徹底した学習指導により、基礎学力が向上したか。 ●教員研修等により教員の指導力が向上したか。 ●家庭学習を含む学習習慣が確立されたか。 ●アクティブラーニングが推進されたか。 ●キャリア教育が推進されたか。 | <ul style="list-style-type: none"> ●夏期教員研修や研究授業、授業公開を行うなど各教科共に努力した。 ●家庭学習については、各教員の指導によりかなり定着してきた。 ●アクティブラーニングの研究推進のため、自己研修と教員間の授業見学を実施した。 ●地元伊奈町との連携により、地域振興ビジネスプランの作成を行った。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ●教員のさらなる指導力の向上を目指す。 ●家庭学習については、充実実践への努力が求められる。 ●アクティブラーニングをさらに推し進めていく。 ●地元伊奈町との連携をさらに深めて、主体性をもって社会問題に関わる人材の育成に努めていく。 |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ●ほとんどの生徒が4年制大学進学を希望しているが、その半数以上が推薦入試またはAO入試での受験を希望している。単に学力試験がないという理由で推薦・AOを考える者も多いので、安易な選択をさせず、しっかりと学力をつけて一般入試に気持ちを向けさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●国公立大学の合格者増。 ●早慶上理、GMARCHの合格者増。 ●日東駒専の合格者増。 ●進学行事を精選し、内容をより充実させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●0時間目演習（早朝学習） ●代ゼミ現役講師演習。 ●7・8時間目演習（放課後演習）。 ●本校を会場とした国公立大学をはじめとする大学進学相談会。 ●外部講師による進学講演会や小論文講演会等。 | <ul style="list-style-type: none"> ●徹底した進学指導により、目標大学への合格が実現できたか。 ●進学行事の充実により進学実績が向上したか。 ●国公立大学、難関大学への合格が実現できたか。 | <ul style="list-style-type: none"> ●国公立大学は、前年9名→今年14名と増加。 ●早慶上理13名→9名 ●GMARCH59名→49名 ●昨年度に比べ難関大学への合格数は減少しているが、一人ひとりに合わせた学習指導を行った。 ●進学行事については、まだ改善の余地はあるが、充実した内容になった。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ●早朝学習、放課後演習については、概ねよく取り組むことが出来たが、努力が必要な生徒もいたので、演習を通じて模試の結果を高めていく。 ●進学行事を精選し、内容をより充実させる。 ●アクティブラーニングやキャリア教育により、多様な受験スタイルにも対応させていく。 |

| | |
|-------------------|--|
| 実施日 | 平成29年5月10日 |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 | <ul style="list-style-type: none"> ●担任の先生が学習面だけでなく、友人関係等の把握に努めてくれありがたい。 ●生徒とのコミュニケーションを大切にしている。 ●個々に適切な対応、指導をされており、とても良い。 ●人間関係＝社会勉強。これから社会へ出ていく生徒にとって友達との関係はコミュニケーション能力をつける大切なこと。引き続き指導をしてほしい。 ●面談による問題の早期発見と、家庭との連携による問題改善ができています。 ●個々の学習方法の違いがあると思うが、個別に学習指導をしてくれている。 ●家庭学習も先生方の指導のおかげで、積極的に行うようになった。 ●教科により、課題の量が全く違うようなので、教科間のバランスを考えてほしい。 ●地域との連携のとれた生徒の活動が見てとれた。 ●キャリア教育の指導はとても良いと思う。 ●目標を持つことの大切さと達成までのプロセスを大事に指導して頂けた。 ●オープンキャンパスへ積極的に参加させ、早い段階での大学への興味を持たせてほしい。 ●受験に向けての指導を今後ともお願いしたい。 ●人生計画を見通した、それぞれの目標を持たせることを大切にしてほしい。 |